

平成30年度下水道事業の決算の状況

1 事業の概況

平成30年度は、有収水量は15,950,463立方メートルで、前年度の15,886,265立方メートルに比べ、64,198立方メートル（0.4%）増加しました。有収率は94.88%、下水道普及率（人口）は99.99%となりました。

また、収益的収支の主な収入である下水道使用料の調定額は、2,319,879千円で、前年度の2,306,106千円に比べ13,773千円（0.6%）増加しました。

収益的収支の主な支出は、管渠費の管渠等補修工事186,110千円、業務費の下水道使用料徴収業務委託料174,226千円、流域下水道管理費の流域下水道維持管理負担金638,801千円です。資本的収支の主な支出は、管渠建設改良費の聖蹟桜ヶ丘北地区雨水管路改修工事129,231千円、流域下水道費の流域下水道建設費負担金92,385千円、企業債償還金の償還元金139,815千円です。

営業収益・営業外収益の計3,609,260千円と営業費用・営業外費用の計3,020,457千円の差引額は588,803千円となり、消費税を差し引いた当年度純利益は581,855千円となりました。

2 経理の状況

(1) 収益的収支の状況

単位：千円

収入				支出			
区分	予定額	執行額	収入率	区分	予定額	執行額	執行率
営業収益	2,502,197	2,508,988	100.3%	営業費用	3,113,981	2,914,934	93.6%
下水道使用料	2,350,829	2,319,879	98.7%	管渠費	520,419	420,677	80.8%
雨水処理負担金	149,351	186,988	125.2%	ポンプ場費	19,636	18,122	92.3%
その他の営業収益	2,017	2,121	105.2%	業務費	202,299	174,226	86.1%
営業外収益	1,038,213	1,100,272	106.0%	総係費	134,577	128,719	95.6%
受取利息及び配当金	961	965	100.4%	流域下水道管理費	701,802	641,946	91.5%
他会計補助金	6,583	6,342	96.3%	減価償却費	1,488,433	1,484,431	99.7%
長期前受金戻入	1,022,918	1,085,461	106.1%	資産減耗費	46,814	46,813	100.0%
雑収益	7,751	7,504	96.8%	その他の営業費用	1	0	0.0%
				営業外費用	105,625	105,523	99.9%
				支払利息	25,409	25,308	99.6%
				消費税及び地方消費税	79,749	79,749	100.0%
				雑支出	467	466	99.8%
				予備費	50,000	0	0.0%
				予備費	50,000	0	0.0%
合計	3,540,410	3,609,260	101.9%	合計	3,269,606	3,020,457	92.4%

(2) 資本的収支の状況

単位：千円

収入				支出			
区分	予定額	執行額	収入率	区分	予定額	執行額	執行率
他会計補助金	204,492	161,823	79.1%	建設改良費	328,773	271,068	82.4%
他会計補助金	204,492	161,823	79.1%	事務費	24,989	24,121	96.5%
都支出金	3,250	2,571	79.1%	管渠建設改良費	169,397	154,561	91.2%
都補助金	3,250	2,571	79.1%	流域下水道費	134,199	92,386	68.8%
				固定資産購入費	188	0	0.0%
				企業債償還金	139,816	139,815	100.0%
				企業債償還金	139,816	139,815	100.0%
合計	207,742	164,394	79.1%	合計	468,589	410,883	87.7%